



高原の自然館ニュースレター

苅尾電波塔

第 73 号

2010.2.1

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめて「かりお」
の名前をつかっています。

も く じ

お知らせ

- ー雲月山植物の巡回写真展について
- ー新聞記事掲載の紹介
- ーアンケート調査について

活動報告

- ー冬を生きる動物たちの生態

観察会案内

- ー雪原のトレッキング
- ー早春のトレッキング

お し ら せ

●雲月山植物の巡回写真展について

雲月小学校の児童が撮影した四季の植物の写真が北広島町内の公民館を巡回して展示されます。日程は下記の通りです。ぜひご覧ください。

- 1/22（月）～2/5（金） 千代田中央公民館
(Tel:0826-72-2249)
- 2/8（月）～2/19（金） 豊平中央公民館
(Tel:0826-83-0020)
- 2/22（月）～3/5（金） 大朝公民館
(Tel:0826-82-2211)
- 3/8（月）～3/19（金） 芸北文化ホール
(Tel:0826-35-0070)

※開館時間は各公民館によって異なります。確認の上、ご来場ください。

●新聞記事掲載の紹介

1月16日に行われた観察会“冬を生きる動物たちの生態”の様子が中国新聞に掲載されました。

中国新聞（2010.1.17）

“雪上足跡で動物生態学ぶ”

<http://www.chugoku-np.co.jp/News/Tn201001170036.html>

●アンケート調査にご協力ください

2010年度の西中国山地自然史研究会の活動を考えるための資料として、アンケート調査を行っています。会の活動をより良いものにしていくため、同封のアンケートにご協力ください。よろしくおねがいします。

観 察 会 報 告

●冬を生きる動物たちの生態

開催日時:2010年1月16日(土)10:00

講師:上野吉雄

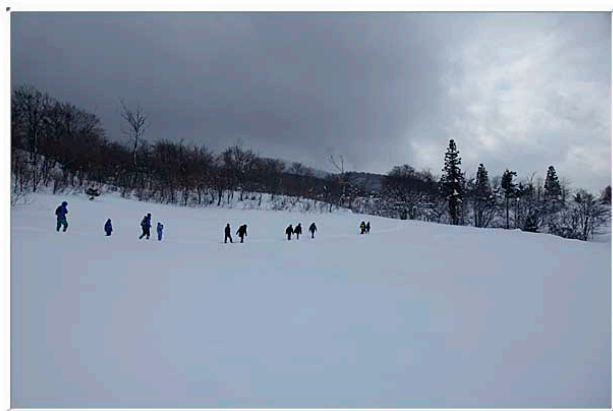
前日まで雪がよく降り道路の凍結などの心配がありました。当日は久しぶりによく晴れたとても良い観察会日和となり、17名の参加者が高原の自然館前に集合しました。今回の講師は、上野吉雄先生です。まずは事前勉強のため、高原の自然館の中で、どのような生きものが冬に活動しているかを学びました。タヌキやテンなどの剥製を見ながら、毛触り、指の数、どのような生活をしているのかを学び、姿や足跡を見ることができるといいなと思いながら、参加者の皆さんとカンジキを履いて、千町原をめざして出発しました。連日雪が降り続けていたため、積雪は80cmを超えており、道がわからないほどの雪景色!雪を積もらせたカラコギカエデやノリウツギなどが枝を曲げながらも耐えていました。少し歩いて行くと、ウサギが活動した足跡を見つけました。足跡や木をかじった痕、フンなど、姿は見えずともウサギがどの方向に移動し、どのような事をしたのかを、上野先生の実演を含めた説明があり、とてもよくわかりました。句碑のある方へしばらく歩いていくと、キツネの足跡を見つけました。足跡の先には、尿をした足跡があり、臭いをかいでみましたが、とても甘くしばらく鼻に付くような強烈な臭いでした。雪上には、トビムシやガガンボの仲間など雪での生活をしている小さな昆虫も見つかり、動物以外にも冬を生活している生きものが見られました。冬が教えてくれる生きものたちの生態は面白く、動物の姿を見ることはできませんでしたが、どのように生活しているかがわかり、冬だからこそ楽しめる観察会となりました。[しんぽゆうすけ]



アナグマの毛をおそるおそるさわってみる。



カンジキ作りの先生である坂井さんに教えていただき、カンジキを履く。



千町原へ向かって丘を登る。ふかふかとした新雪だった。



足跡や食痕を探すと生きものの存在が感じられる。



まっすぐ一直線についている足跡はキツネ。



鳥声に耳を傾ける。

【みなさんの印象に残った物】

「昆虫がいたこと」「自然界の動植物の生態が分かった気がする。」「たくさんの足跡」「キツネのマーキングの匂いが甘い。」「キツネのマーキングの匂いが強烈でした。」「雪が多かった。きれい。」「冬の中にいるセツケイカワゲラの仲間」「先生の熱心な説明。」「動物の足跡しかない。雪原が大変きれいだった。」「テンの足跡」

【参加したみなさんの感想（抜粋）】

「動植物の生態が少し分かって良かったです。」「雪の中の公園を歩くのもいいと思いました。」「たくさんの雪!」「かんじきを履いて雪の中を歩いても沈まない。」「初めてかんじきを履きました。」「今日は足跡をたくさん見られて嬉しかった。」「冬の雪の中でも動物たちは生きているのがわかりおもしろい。」「雪の中を歩くのは気持ちよかったです。」「上野先生の説明が良いし、天気にも恵まれ楽しかったです。」「ウサギを追いかけているみたい。あとキツネの神秘性について知りたい。」



木の下に落ちていたオオウラジロノキの実。

観 察 会 案 内

観察会に参加される時には、次のようなものを持参してください。カメラ、双眼鏡、ルーペ、図鑑などもあれば、楽しいと思います。

基本セット：山を歩ける服装、雨具、飲み物、おやつ、筆記用具、メモ帳

作業セット：作業ができる服装、長靴、軍手、雨合羽、飲み物、おやつ

● 雪原のトレッキング

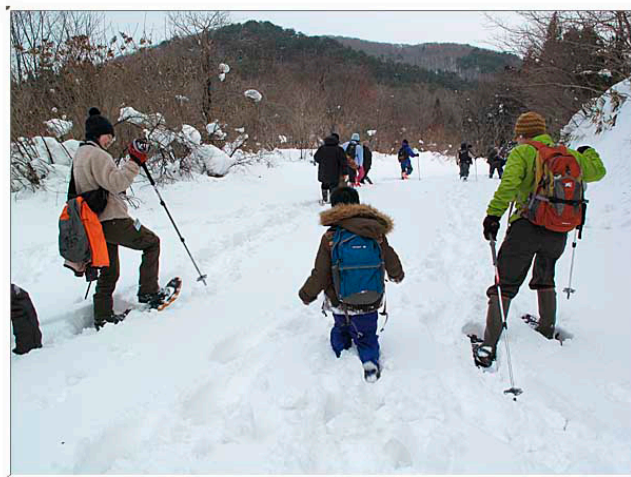
開催日時：2010年2月21日(日) 10:00
集合場所：高原の自然館
講師：上野吉雄
準備：基本セット、かんじき(レンタル/1個200円)、スノーシュー
定員数：30名
参加費：一般=300円
賛助会員=100円
正会員・中学生以下=無料

雪の草原を歩きましょう。いつもより高いところを歩くので、視点が変わっておもしろい発見があるかもしれません。寒くても冬の八幡高原を楽しめるトレッキングです。

● 早春のトレッキング

開催日時：2010年3月6日(土) 10:00
集合場所：高原の自然館
準備：基本セット、かんじき(レンタル/1個200円)、スノーシュー
定員数：30名
参加費：一般=300円
賛助会員=100円
正会員・中学生以下=無料

暖冬の影響で、3月には雪がないかもしれません。雪の下で春をまつ植物や、はやくもなわばりを主張する鳥の姿を見ることができましょう。冬の痕跡と春の兆しを感じられるトレッキングです。



1月になり、氷点下14度の朝を二度体感しました。寒い、というより指先や耳などは痛い!と感じます。着氷した樹は朝日を浴びてキラキラと輝き、とても美しい景色を見せてくれました。また別の日に、スノーシューをはいて雲月山へ行き、真っ白な雪ですっぽり覆われた冬の雲月山を初めて見ることができました。2月も、冬ならではの景色や空気をたくさん感じながら、徐々に近づいてくる春を楽しみに待ちたいです。(この)

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先
(ご意見・ご感想もお待ちしています)

高原の自然館(こうげんのしぜんかん)

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原119-1

tel. & fax : 0826-36-2008

<http://shizenkan.info/>

staff@shizenkan.info